

(様式第4号)

上田中央地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田中央地域協議会
2 日時	平成28年9月20日 午後1時30分から午後3時30分まで
3 会場	市民プラザ・ゆう 2階 大会議室
4 出席者	伊藤委員、岩野委員、金井委員、小山委員、斉藤委員、谷藤委員、中澤委員、成澤委員、樋村委員、藤木委員、古川委員、増田委員、丸山幸雄委員、丸山理英子委員、宮下委員、山浦委員、吉田委員
5 市側出席者	竜野地域振興政策幹、武捨市民参加・協働推進課長補佐、小林市民参加・協働推進担当係長、神林市民参加・協働推進課担当主査、樋口市民参加・協働推進担当主事(城南地域まちづくり会議)宮下会長
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成28年10月4日

協 議 事 項 等

会議次第

1 開会

2 会長あいさつ

3 協議

(1) 地域内分権の推進について

ア 城南地区の取り組みについて

- ・城南地区における取組内容や経過について、城南地域まちづくり会議 宮下会長、神林主査から説明
- ・以下、質疑応答

(委員) 将来的には自治会役員の担い手がなくなる等の危機感を持っているので、何らかの対策を講じなければならないという意識はある。

(委員) 交付金について具体的な事が分かれば、設立に向けての判断材料になる。

(事務局) 交付金の額については現在庁内で検討中であるが、住民自治組織立ち上げの初年度については定着化を図るための交付金ということで、既に自治組織が設立されているモデル地区(神科、豊殿、川西、丸子)へ支出している。内容としては備品購入費やまちづくり計画作成のための経費に充てていただいている。

(委員) わがまち魅力アップ応援事業の補助金を住民自治組織への交付金に移すことになるのか。

(事務局) わがまち魅力アップ応援事業についてだが、交付金の額も含めて、庁内で検討中である。財源との関係もあるため、様々な角度から交付金に移せるものを検討している。

(委員) 住民自治組織では、自治会活動に対して提案などもしていきたいという考えでいるのか。

(宮下会長) そこまでは考えていない。自治会組織で例えると、地区連合会のような役割を担うというイメージである。

(委員) 住民自治組織と自治会の位置づけはどのようなものになるのか。

(宮下会長) 自治会を廃止するわけではないが、移行できる業務等があれば住民自治組織へ移行していければと考えている。

(委員) 事務局が全て事務作業をやってくれるのであれば負担軽減につながるが、自治会を残すのであれば今までと変わらないのではないかと。利用しないお金をもらっても、無駄に使うだけで楽になるようではなれないと思う。また、地区の代表が集まる組織になるので統一は難しい。新たな組織を設立するのではなく、地区自治会連合会を活かしていけばいいのではないかと思うがどうか。

(宮下会長) 地区自治会連合会と同じかという点と違う。個々の問題については自治会が対応し、大きい問題について協議、対応するのが地区自治会連合会。しかし、実際は地区自治会連合会で対応するのは負担が大きくなってしまう。なので、事務局等を置いた住民自治組織であれば迅速に対応することが出来る。

(事務局) 市で行う事業は今後もやっていき、地域で行う事業に関しては担当職員がフォローしていくことを考えている。地域の中でできること、出来ないことなど細かな情報まで考えていただき使っていただきたいと思っている。

(委員) 特定の人に役員が集中してしまう傾向があるので、一人に負担をかけない形を考えてほしい。

(委員) 地域内分権を推進するにあたり、市のまちづくりのイメージは。

(事務局) これからは、人口減少により、税金も減少し、市民ニーズも更に多様化が見込まれる。地域の方が主体性を持ち、出来ることはやっていく。課題ごとにそれぞれの考えていくのが自治。一人ひとりの住民が豊かになるように、地域ごとに探していくことがこれからの形であると考えている。

(委員) 壮大すぎる話。何の為にやるのか。問題が起こり、考えるきっかけがあれば進んでいく話だが、そのような問題もない中、自分達で考えろと言われても難しい。自治会を残しつつ、新たに組織を設立しても何も変わらないと思う。

(事務局) 住民が参加できる場所が住民自治組織。話し合う中で、いくつかの自治会の問題を解決する話が出る場である。

(委員) 行政は地域課題を把握しているだろうが、私たちにはそのような情報が届いていないので、何に困っているのかわからない。

(委員) 住民自治組織は広域連合のようなイメージなのか。自治会連合会だと各自治会に踏み込むことはできないので、調整する組織と考えて良いのか。

(宮下会長) それぞれの地域によって位置づけが違ってくると思う。

(事務局) 最後に補足させていただく。上田市の人口について、2012年には約16万人だったが、2040年には11万人弱という将来推計が出ている。少子高齢化、人口減少となり、労働人口が減るため地域が衰退してくる。税収が減ると今までのようなサービスはできなくなっていく。さらに、社会保障費は増えてくる。自治会も今と同じような機能は働かなくなると考えられる。よって、今から考えていかなければならないことが地域内分権であると考えている。

イ 今後の進め方について

・事務局より説明

(会長) 次回は、もう少し詳しい部分を協議していきたい。

ウ その他

4 その他

(1) 当面の日程

ア 10月20日(木) 14:30(会場:中央公民館 3階 大会議室)

イ 11月24日(木) 13:30(会場:中央公民館 2階 第1会議室)

5 閉会